

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間: 2017/01/01 ~ 2017/10/31)

|||||

1. 勉学の状況

→ 学校の勉強もMidterm (中間試験) の期間が過ぎ、期末のプロジェクトに向けてさらに実践的な授業内容になってきた。ある授業では英語の読み書き学習に困難を持つ子どもを対象に音素意識(phonemic awareness) を育てる指導を少人数グループの学生同士で実演し、アルファベットの音素の分割、合成に関わる知識とそれを「教える」授業というのを練習することができた。その他の授業においては、主に発達障害のアセスメントやスクリーニング検査の資料を用いた評価練習を行い、現在までに10を超える検査の実施・評価・分析の方法を学んだ。特に未就学児、小学校低学年の言語分野の発達を測る検査についてはこの国での言語発達の基礎を測るために作成されたものなので重要なソースとして活用できると思っている。

毎週月曜日は、近隣の小学校二年生の教室にて1日を通して観察を行なっている。もちろん授業の一環で対象とする児童を主として観察するのだが、教室に常にいるため他の児童とも話したり学習補助に参加したりするためアメリカ版「たまプロ」のようである。日本とは全く違う学習をしているためかなり勉強になる。電子黒板の使用や特別支援体制の差、清掃環境についても日本との差異を感じるが、絵本の読み聞かせ、移動教室の整列など共通する部分もあり興味深く観察をしている。写真はある日の給食のもので、自分でお弁当を持ってくる代わりに給食費を払って食堂で給食を受け取る方式である。なので食堂にはお弁当持参の子どもと給食の子どもが混在している。



2. 生活の状況

→ ハロウィンが10月の最も大きなイベントとして掲げられており、子どもも大人も仮装をするのが常識らしく、10月31日は火曜日だったため学校に仮装をしたまま登校し、教師も仮装をして授業をしていてかなり不思議な光景だった。普段は大人しい児童や落ち着きのない児童も仮装をすることで自分に自信がもてたり、授業と仮装のメリハリをつけようと先生が声をかけるのに対して素直に従っていたりした。学校のおわりに、小学生全員が校内を仮装して歩き回る「パレード」が開催され、クラスでも児童の親が持ち寄ったお菓子などでパーティーをし、盛大に祝っている様子だった。11月はいよいよ寒さが本格的になってくるそうなので防寒と体調管理を徹底したい。

